

# イーストスプリング・インドネシア株式オープン 10月14日における基準価額の変動について

受益者向け資料  
2015年10月15日

2015年10月14日、当社が運用する「イーストスプリング・インドネシア株式オープン」の基準価額が前営業日比で5%を超える下落となりましたので、ご報告いたします。

ファンド名	10月14日 基準価額	10月13日 基準価額	前営業日比	前営業日比 騰落率
イーストスプリング・インドネシア株式オープン	8,259円	8,747円	-488円	-5.58%

※基準価額は、信託報酬控除後の数値です。

(ご参考) 株価指数	10月13日	10月12日	前営業日比	前営業日比 騰落率
ジャカルタ総合指数(現地通貨ベース)	4,483.08	4,630.71	-147.63	-3.19%
(ご参考) 為替レート	10月14日	10月13日	前営業日比	前営業日比 騰落率
インドネシアルピア(100ルピア当たり、対円)	0.88円	0.90円	-0.02円	-2.22%

出所:ジャカルタ総合指数はBloomberg L.P.のデータ、ファンドの基準価額に使用した投資対象ファンドの価格に合わせ、前日の終値を使用。  
為替レートは一般社団法人投資信託協会が発表する為替レートに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

## 基準価額下落の背景

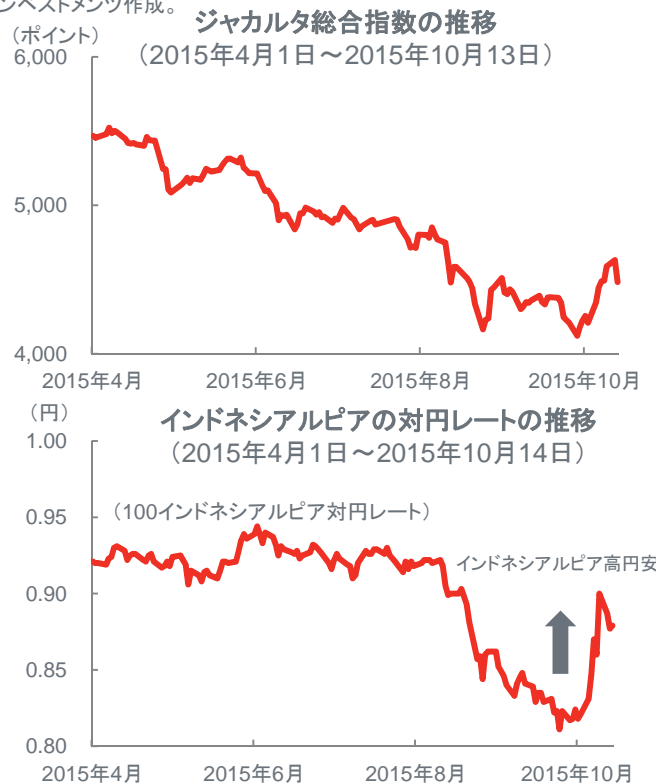
インドネシア政府は9月9日に経済対策の第1弾を発表し、29日に第2弾、10月7日に第3弾を発表したことが好感され、9月末から株式市場は大きく反発していました。10月14日のインドネシアの休日を前に大型株を中心に短期的な利食い売りが入ったものと推測されます。

10月13日に発表された中国の9月の貿易統計で、輸入が大幅に落ち込み、中国の内需低迷があらためて意識されたことから、投資家のリスク回避姿勢が再び強まったことも株価下落の背景と思われる。

## 今後の見通し

インドネシア政府は先月来相次いで景気刺激策を打出しており、強い意志を持って景気回復に取り組む姿勢が伺えます。今後も米国の利上げや中国景気の先行き、為替の動向など市場を取巻くリスクには引き続き注意が必要ですが、市場の調整局面はファンダメンタルズが堅固な企業の株式を割安な水準で組入れる好機と考えています。

セクター別では、今後も高い成長性を期待して銀行や不動産の組入比率を高め維持する方針です。生活必需品について現状は割高との見方を継続しています。



出所: Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

\*ジャカルタ総合指数は、インドネシア証券取引所が公表している指数です。

※当資料はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社が情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品等の勧誘・販売を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料でもありません。※当資料は信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしも正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料には、現在の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、事前の通知なくこれらを変更したり修正したりすることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来を保証するものではありません。

英国ブルーデンシャル社はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社とは関係がありません。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第379号/加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会